

南アルプス山岳写真館



21012011 松島拓司



大自然が広がる中いざ山頂を目指す登山家の休息の場として、

今一度、自然と対峙する場が必要と考えた。

自然の「脅威と優しさ」を再認識することが必要ではないだろうか。

山岳写真家の写真を山の中でみることの意味がより一層高まるように。

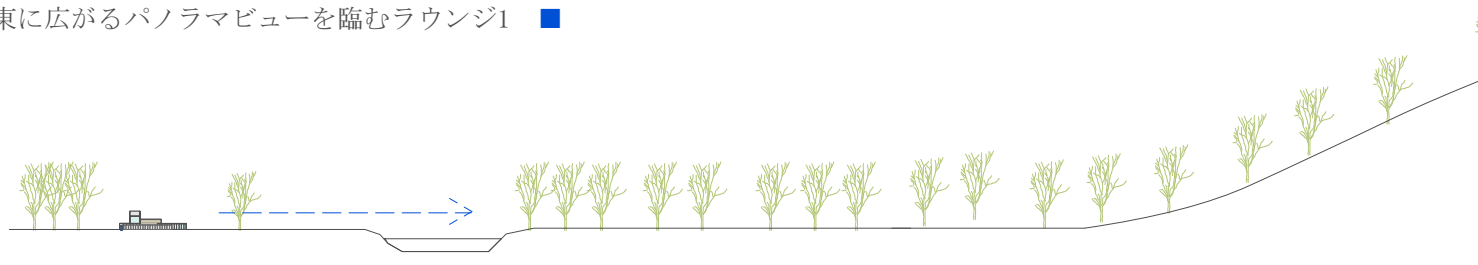
## ■ 計画主旨

これから上る山の頂に思いをはせる場所、  
目の前に広がる自然に包まれ休息する場所、  
2つの対照的な場所をつなぐ心臓部に展示室を計画する。

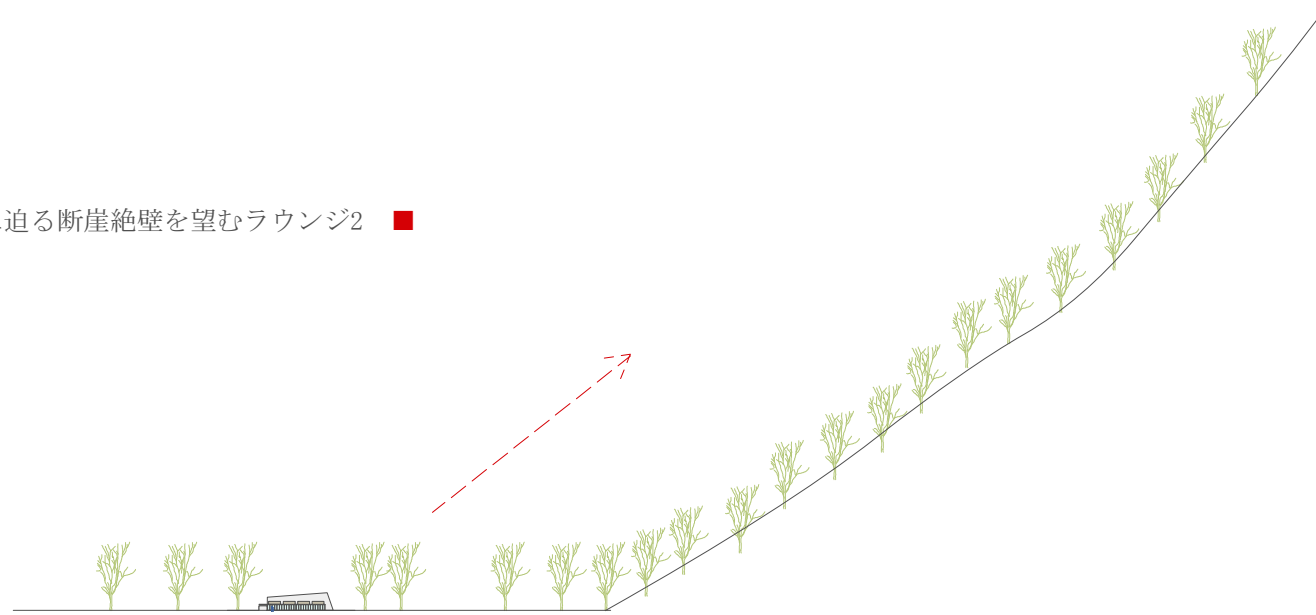
来訪者は木のBOXの中で、より純度を増して写真家の写真と対峙することとなる。

## ■ 配置計画

東に広がるパノラマビューを臨むラウンジ1 ■



直前に迫る断崖絶壁を望むラウンジ2 ■

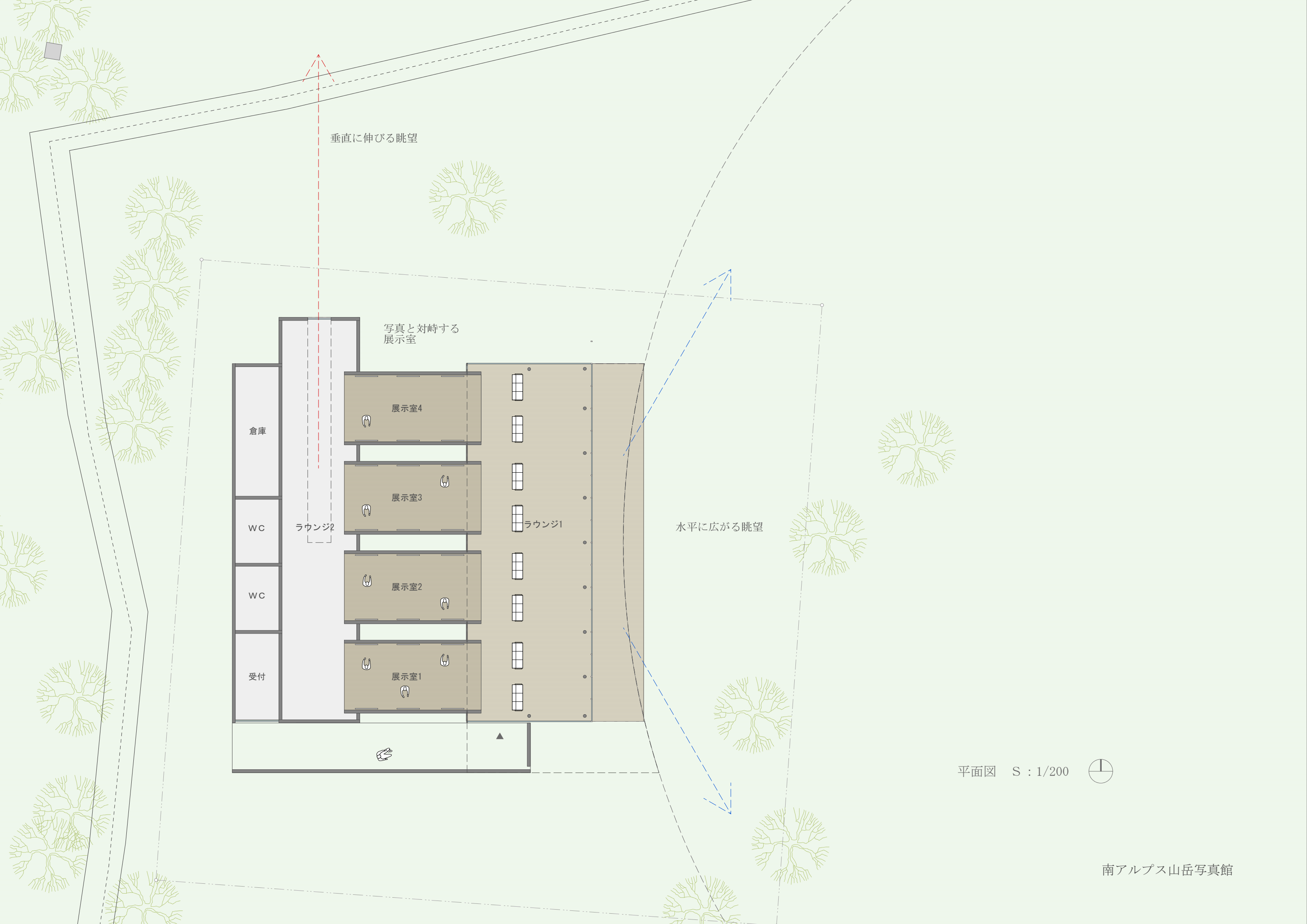


写真と対峙する閉じた展示空間 ■



配置図 S : 1/2000





垂直に伸びる眺望

写真と対峙する  
展示室

倉庫

展示室4

WC

ラウンジ2

展示室3

ラウンジ1

WC

展示室2

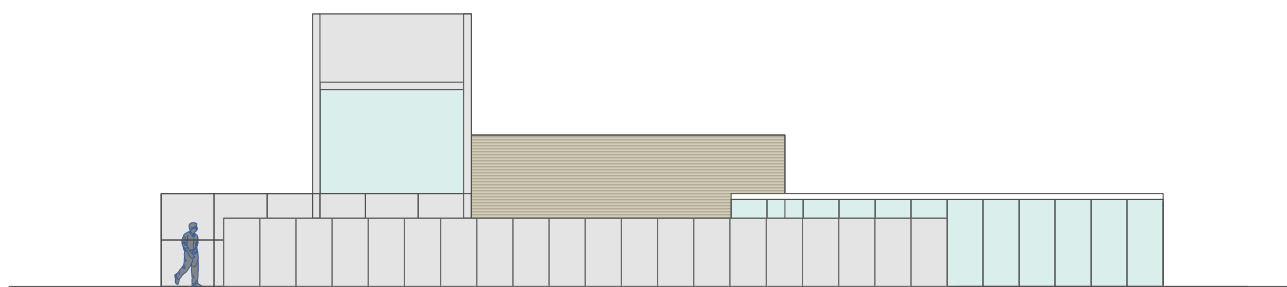
水平に広がる眺望

受付

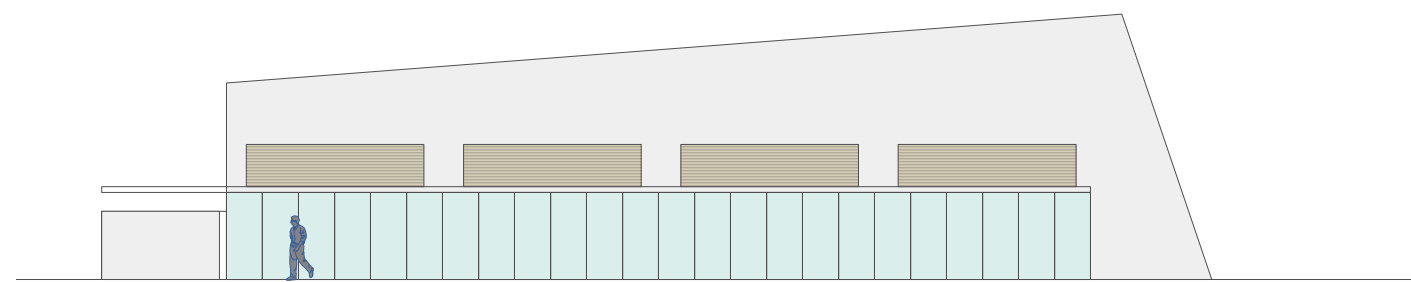
展示室1

平面図 S : 1/200



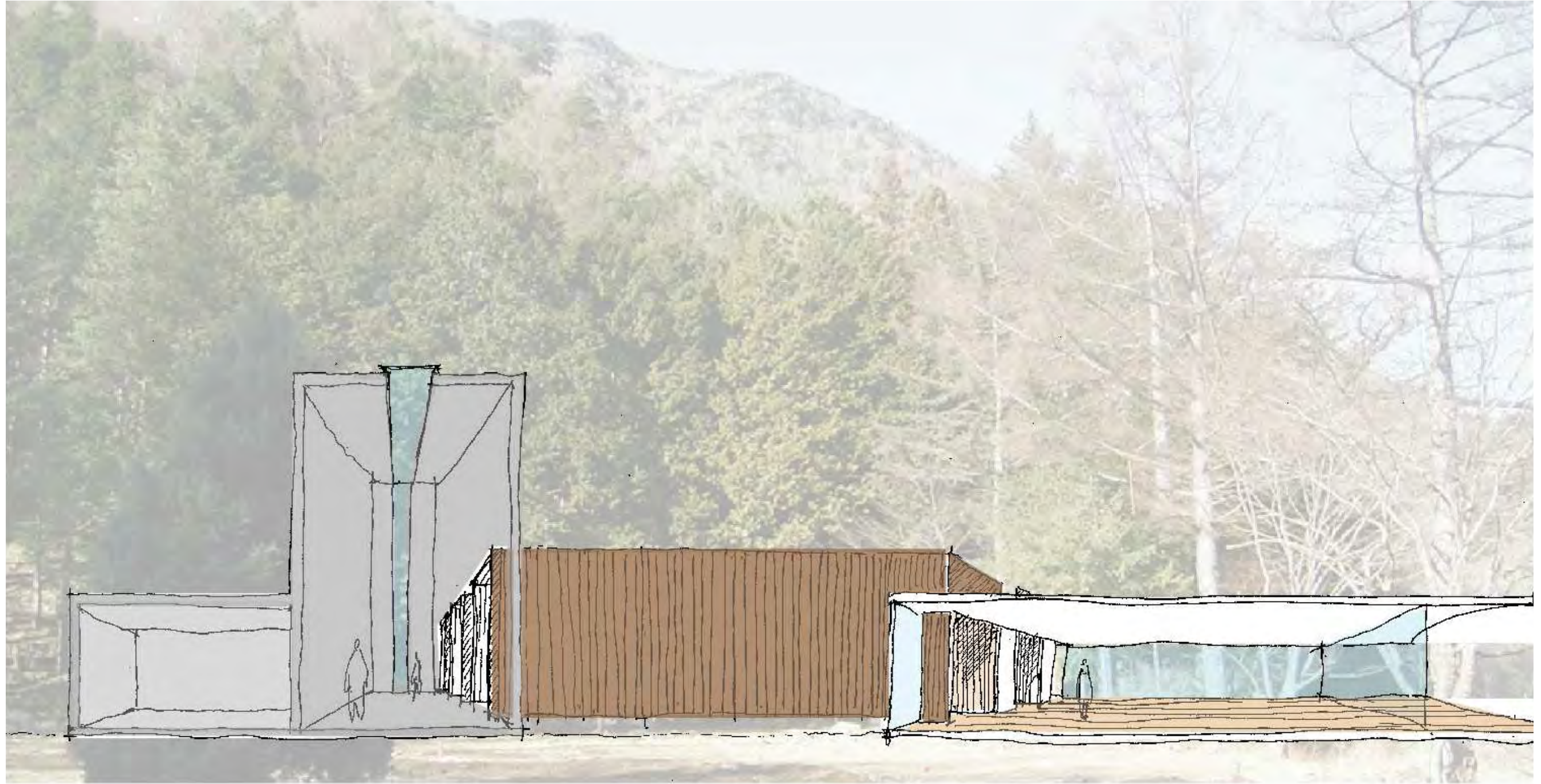


南立面図 S : 1/200



西立面図 S : 1/200

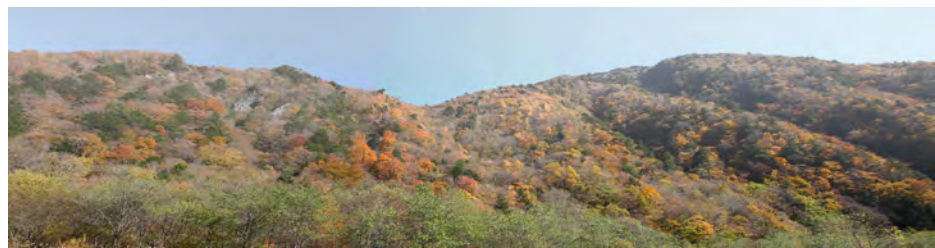




RC造

木造

S造







南より見る





水平に広がるラウンジ1





東より見る



